

教育相談室

心通うまちの人々が、
子どもたちの健康な心を育む

入学から3ヶ月が経ち、子どもたちの成長も顕著です。仲の良い友達と通う姿に変化があつたり、上級生を先頭に小さな体が遅れないように必死についていつていた姿が、いつの間にか余裕を持つて歩いていることに。

この時期は、子どもたちにとつて、慣れと同時に不安・悩みも出できます。教育相談室にも、日々、様々な相談があります。

記者では教わらねえ
二 登校をしぶるようになつた。
三 子どもが保護者の言うこと
きかねえ。

夏季休業中は、子どもたちは

【相談内容】

家庭

一 目標を設定させ、規則正しい生活をさせましょう。

朝ごはん・学習時間の確保・家の手伝いの習慣化等を行いましょう。

ション手段で、諸問題が発生しています。家族で話題にしてください。

三 タメなことは、タメと言える家族関係を作りましょう。夏休みのおりを熟読し、学校で注意されている事柄を確認し、守らせましょう。

※LINE（ライン）をはじめとするSNS（エス・エヌ・エス）などの個人間のコミュニケーションケー

(スクールハートナリ)・教育
相談員で行っています。

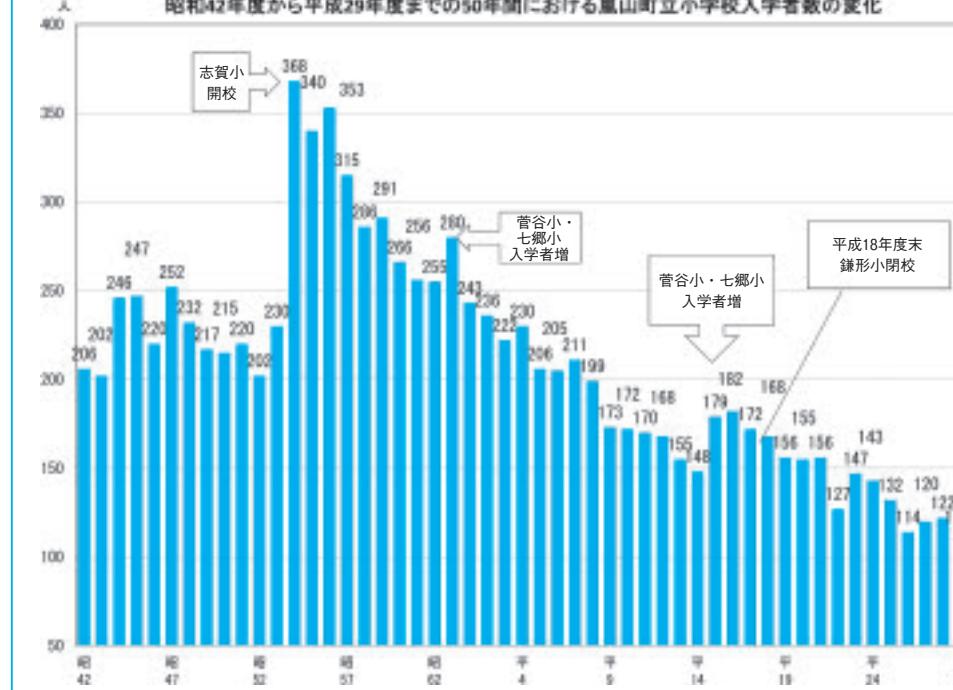
地域・家庭・学校のネットワー
ークが広がれば、情報が共有化
され、心通うまちが子どもたち
を育てることになります。

三者で協力をして、子どもた
ちを育てましょう。

教育相談室
○嵐山町教育相談室
教育総務課 ☎ 62-10823
電話でお問い合わせください

表 1

昭和42年度から平成29年度までの50年間における嵐山町立小学校入学者数の変化



この中で、望ましい学校規模を小学校は全学年でクラス替えができる「1学年2学級以上」、中学校は教科担任が学習指導でできる「9学級以上」としています。

学校規模は、小学校・中学校ともに「12学級以上18学級以下」が標準とされています。平成29年度、町内の小中学校でこの標準を満たしているのは菅谷小学校のみとなっています。今回の手引では、12学級を下回る程度に応じて、教育上の課題を考えていく必要性が指摘されています。

町では、人口減少等の影響により児童生徒数の減少が続いており、学校が小規模化している

「嵐山町教育委員会が作成した
「町制施行後50年間における嵐
山町立小学校入学者数の変化と
今後について」を抜粋しまし
た。
(シリーズの担当は地域支援課
地方創生推進室です。)

小学校は今（その②）
今回は、嵐山町の町立学校入
学者数の変化と今後について掲
載します。

昭和42年度の町制施行から50
年の節目を迎える平成29年度。

これまでの50年間において嵐山
町立小学校に入学した児童数は
表1のようになります。

志賀小学校を開校した昭和54
年度は新入生368名となりま
したが、その後、年々減少し、平成
29年度は114名となりました。

編制、玉ノ岡中学校が全学年2学級の6学級編制です。教科担任制である中学校では、生徒数の減少により教員数も減少し、玉ノ岡中学校では美術・家庭科において常勤の教員が配置されず、非常勤講師によつて授業が行われています。

表2



なつまつ きせつ きことし なつ
夏祭りの季節がやって来ますね！今年も暑い夏になりそうです。Pieace
は暑さに負けずたくさんの夏祭りに参加し、笑顔で元気に活動していきた
いと思います！

がつ かいつい
4月よりまねきねこで開催されているすきドル4ですが、Pieaceの「ピ
ース☆」をたくさんの方に歌っていただき、おかげさまでステージ3まで
來ることが出来ました。ありがとうございます。引き続きよろしくお願
いします！

じゅうえんよてい
☆Pieace出演予定☆

がつ にち にち
7月2日(日) ヌエックフェスティバル

がつ にち ど
7月8日(土) 志賀1区天王様

Pieaceプロジェクト